

JAFFE2023年度活動報告

2023年度の学会活動について、1 大会・総会、2 研究会、3 幹事会の順で報告します。

1 大会・総会

日本フェミニスト経済学会は、2020年1月以降の新型コロナウイルス感染症の流行に伴いオンライン開催が続いていましたが、2023年大会は昨年同様基本的には対面で一部ウェブ会議アプリZoomを使用したハイブリッド型開催としました。会員のみなさまのご協力により、これまでの大会と同様に、自由論題、共通論題、総会の一連のプログラムを滞りなく終えることができました。

共通論題では、ローカリティーをキーワードに、移動すること、しないことの自由を国内外の様々な移動のあり方から考察しました。地域研究、移民研究、教育社会学を専門とする4人の報告者と3人のコメンテーターに登壇いただき、重厚な議論を展開することができたと考えております。全国から会員、非会員ともに67人の参加をいただきました。また自由論題では7名と多くの会員が報告しています。

大会プログラムは以下の通りです。

2023年7月29日(土) 対面・オンラインのハイフレックス型開催(オンラインはウェブ会議アプリZoomを使用)、大会本部：福岡女子大学(会場担当：徐阿貴)

●共通論題：フェミニスト経済学とローカリティー——移動の自由と生き方の幅

【座長】小川真理子(東京大学)・大野恵理(獨協大学)

【趣旨説明】小川真理子(東京大学)

【報告1】大野聖良(お茶の水女子大学)

「在留資格『興行』とは何だったのか?——日本における『移住労働とジェンダー』を考える」

【報告2】日下部京子(アジア工科大学・タイ)

「タイの移民労働者たちによる居場所作り——ジェンダー視点からの考察」

【報告3】佐野麻由子(福岡県立大学)

「九州在住ネパール地域研究者の経験から考えた『移動の自由と生き方の幅』」

【報告 4】 中島ゆり（長崎大学）

「地元を離れない若者たち」

【コメント】 堀内光子（公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム）、大野恵理（獨協大学）、小川真理子

【まとめと閉会の挨拶】 大野恵理

●自由論題報告

司会：平野恵子（横浜国立大学）

・稲葉知恵子（拓殖大学）

「ジェンダー予算編成による地方自治体のジェンダー平等推進について」

コメンテーター：古沢希代子（東京女子大学）

・林 亜美（神田外国語大学）

「女性デジタル人材育成と公的職業訓練——デジタル分野と女性受講者の訓練実態」

コメンテーター：禿あや美（跡見学園女子大学）

司会：小ヶ谷千穂（フェリス女学院大学）

・伊藤 鞠（同志社大学大学院博士後期課程）

「準専門職女性のキャリア選択」

コメンテーター：中原朝子（神戸大学）

・藤野敦子（京都産業大学）

「父親が育児に関わる社会文化的要因——歴史的視角からの検討」

コメンテーター：大橋史恵（お茶の水女子大学）

・川面充子（宇都宮大学ダイバーシティ研究環境推進本部）

「30、40代総合職女性の昇格昇進意欲の変容プロセス」

コメンテーター：金井 郁（埼玉大学）

司会：岩島 史（京都大学）

・李 亜姣（日本学術振興会・東京大学）

「ジェンダーの視点から見る民間金融と中国型過剰包摂——被負債女性の事例を中心に」

コメンテーター：伊田久美子（大阪府立大学名誉教授）

・松本理沙（大阪大学大学院研究生）

「高卒就職におけるセーフティネットとしての学校経由の就職とジェンダー」

コメンテーター：三山雅子（同志社大学）

「フェミニスト経済学ハンドブック翻訳・出版プロジェクト読書会」

各回の日時および報告者・コメンテーター

日程	対象章	報告/コメント(敬称略)
4月1日(土)	21 International trade and women workers in the global south	堀芳枝/須田祐子
4月21日(金)	35 Gender and economic growth	山本由美子/大沢真理
	29 Family formation in the US and Western Europe	新井美佐子/石黒久仁子
5月13日(土)	46 Global social policy	落合絵美/田宮遊子
	39 Care regimes in the European Union	新井美佐子/牧田幸文
5月19日(金)	23 Global migration and care chains	小ヶ谷千穂/伊藤るり
6月10日(土)	44 Group-based financial services in the global south: examining evidence on social efficacy	岩島史/岡本由美子
	8 Human rights and feminist economics	板井広明/古久保さくら
6月16日(金)	6 Feminist ecological economics	伊田久美子/福永真弓
	5 Conceptualizing patriarchal systems	中村雪子/粟屋利江
7月1日(土)	31 Intrahousehold decision-making and resource allocation	大野恵理/甲斐田きよみ
	22 Rural women's livelihoods and food security in Africa	岩島史/村尾るみこ
7月21日(金)	19 Contingent work and the gig economy	平野恵子/太田麻希子
	26 Market reform in transition economies	大橋史恵/李亜姣
8月18日(金)	32 Assets, wealth, and property rights in the global south	小ヶ谷千穂/李素軒
	12 Intersectional identities and analysis	徐阿貴/工藤晴子
9月9日(土)	47 Gender budgeting	市井礼奈/加藤登紀子
	20 Labor markets and informal work in the global south	堀芳枝/須田祐子
9月15日(金)	15 Time allocation and time-use surveys	藤野敦子/山本由美子
	41 Care policies in the global south	大野恵理/小ヶ谷千穂
9月16日(土)	13 Feminist use of quantitative methods	川口章/杉橋やよい
10月14日(土)	24 Sex work and trafficking	大野聖良/青山薫
	48 Smart economics	平野恵子/日下部京子

2 研究会

学会主催研究会は共通論題シンポジウムの準備として2回実施しました。

また、本年度より、2021年にラウトレッジ社から刊行された英語書籍を会員翻訳のうえ出版することになり、翻訳作業の一環として各章(全50章)の内容をふまえての「フェミニスト経済学ハンドブック翻訳・出版プロジェクト読書会」をJAFFE会員に開かれ

10月20日(金)	25 Women's work in post-reform China 45 The sustainable development goals: reflections from a feminist economics perspective	大橋史恵／朴紅蓮 飯沼健子／高松香奈
11月4日(土)	42 Collective bargaining and unions in the US 33 Intimate partner violence	山田和代／金美珍 小川真理子／松村歌子
11月17日(金)	16 Measurement of well-being 50 Cooperatives	飯沼健子／堅田香緒里 中村雪子／筒井美紀
12月2日(土)	28 Poverty 43 The quest for inclusion in economics in the US: fifty years of slow progress	大野聖良／丸山里美 中原朝子／松川誠一
12月15日(金)	36 Care and the macroeconomy 3 Feminist political economy	山本由美子／大沢真理 足立眞理子／本山央子
1月6日(土)	10 Three faces of agency in feminist economics: capabilities, empowerment, and citizenship 18 Gender discrimination in the US Labor market	金井郁／田宮遊子 川口章／蓑輪明子
1月19日(金)	11 Beyond separative and soluble selves 7 The capability approach	足立眞理子／板井広明 板井広明／山森亮
2月3日(土)	37 Gendering the analysis of economic crises 40 The fragmented state of work-family policies in the US	足立眞理子／田中英明 田宮遊子／江崎幸子
2月16日(金)	17 The feminization of the labor force and five associated myths 14 Feminist use of qualitative/interpretive methods	三山雅子／禿あや美 大橋史恵／林亜美
3月2日(土)	34 Reproductive health and economic empowerment 2 Feminist challenges to development economics	古沢希代子／柘植あづみ 長田華子／飯沼健子
3月15日(金)	9 Care work 30 Gender division of labor among couples	伊田久美子／岡野八代 徐阿貴／久保田裕之
4月6日(土)	27 Environmental resources and gender inequality: use, degradation, and conservation 49 International labor standards and tripartism	古沢希代子／福永真弓 山田和代／日下部京子
4月19日(金)	4 Feminist institutional economics 38 Degrowth	金井郁／申キヨン 堀芳枝／須田祐子

た形で定期開催しました。読書会の開催日時、担当章報告者そしてコメンテーターの一覧は前頁～今頁の通りです。また本巻にはこの読書会の参加記録が収録されていますので、あわせてお読み頂ければと思います。

読書会もそうですが、コロナ禍で得られた知見の一つとしてのオンラインでの研究会

開催が定着しつつあります。3年にわたるオンラインを活用した大会・研究会の知見を取り入れながら、これまで以上に研究活動に力を入れていきたいと考えております。

●共通論題シンポジウム事前研究会 1 開催日：2023年4月30日（日）

・報告者：大野聖良（お茶の水女子大学）・日下部京子（アジア工科大学・タイ）・佐野麻由子（福岡県立大学）・中島ゆり（長崎大学）

・コメンテーター：堀内光子（公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム）、大野恵理（獨協大学）、小川真理子（東京大学）

●共通論題シンポジウム事前研究会 2 開催日：2023年7月2日（日）

・報告者：

大野聖良（お茶の水女子大学）

「在留資格『興行』とは何だったのか？——日本における『移住労働とジェンダー』を考える」

日下部京子（アジア工科大学・タイ）

「タイの移民労働者たちによる居場所作り——ジェンダー視点からの考察」

佐野麻由子（福岡県立大学）

「九州在住ネパール地域研究者の経験から考えた『移動の自由と生き方の幅』」

中島ゆり（長崎大学）

「地元を離れない若者たち」

・コメンテーター：堀内光子（公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム）、大野恵理（獨協大学）、小川真理子（東京大学）

3 幹事会

今年度は、以下のように4回の幹事会を開催し、そのほか幹事会のメーリングリストを通じて学会運営を行いました。今後、さらなる学会活動の充実を図っていかねばと考えております。

第1回 2023年4月30日（日） オンライン（ウェブ会議アプリ Zoom）

第2回 2023年6月10日（土） オンライン（ウェブ会議アプリ Zoom）

第3回 2023年7月29日（土） 大会後対面開催

第4回 2023年12月10日（日） オンライン（ウェブ会議アプリ Zoom）

（文責：平野恵子）